

武蔵関駅まちづくり ニュース

平成28年3月

武蔵関駅前まちづくり推進会 を設立しました!



武蔵関駅周辺地区では、平成22年に『武蔵関駅周辺地区まちづくり協議会』が設立され、駅周辺のまちづくりのあり方を検討してきました。練馬区は、協議会からの提言を受けて、平成26年5月に当地区のまちづくりの指針となる『武蔵関駅周辺地区まちづくり構想』を策定しました。

平成27年10月、『武蔵関駅周辺地区まちづくり構想』の実現に向けて、鉄道の立体化を見据え、駅前空

間のあり方などの具体的な検討を進めるために、駅を中心として鉄道沿いの方々にお声がけし『武蔵関駅前まちづくり推進会』を設立しました。

まちづくり推進会設立の目的

まちづくり推進会は、まちの課題を解消するための検討と西武新宿線の立体化の早期実現のため、住民と区が協働で、武蔵関駅前のまちづくりを進めることを目的としています。

まずは駅周辺の課題を整理し、先進事例を参考にしながら、

- ① 駅前広場の整備のあり方
- ② 駅周辺の商店街の活性化

について、具体的な検討を進めていきます。

会員の構成

対象地区に居住する方、土地・建物を所有する方、営業されている方等で、参加の申込みをされた方

駅周辺の町会や商店会から推薦を受けた方

会員
(37名)
平成28年
2月現在

まちづくり推進会の募集範囲



武蔵関駅前地区
まちづくり推進会の募集範囲

武蔵関駅周辺地区
まちづくり構想の対象範囲

今後もまちづくり推進会の活動状況や西武新宿線の立体化等について地域の皆様にお伝えしていきます。



駅周辺のまちづくりに関する事例見学会

日 時：平成27年11月15日（日）
 参加人数：推進会会員12名
 見学地：西武池袋線 練馬高野台駅、大泉学園駅
 目的：①駅前広場や道路の整備等駅周辺まちづくりのイメージをつかむ
 ②協働によるまちづくりの進め方を知る

見学地①

練馬高野台駅 ～武蔵関駅と乗降客数が同程度の鉄道立体化事例～

●北口駅前空間



北口ロータリーには、路線バス停留所、タクシー乗り場があります。（約2,000㎡）

●駅舎と南北通路



改札は2階、ホームは3階にあり、地上部分は南北通路で行き来ができます。

●鉄道沿いに整備された側道



鉄道高架化に伴い、線路に沿って整備された側道。（幅員8～14m）

●練馬区谷原出張所



高架下利用として、練馬区谷原出張所が整備されています。

●商業施設（駅ナカ/高架下）



駅ナカや高架下には、食料品店、スーパー、飲食店等の商業施設が入っています。

●南口駅前空間



南口の広場は歩行者専用で、休憩や待合せをする憩いのスペースとなっています。（約1,300㎡）

見学地②

大泉学園駅 ～駅周辺での協働によるまちづくりの取組～

大泉学園駅北口まちづくり懇談会 加藤会長からお話を伺いました

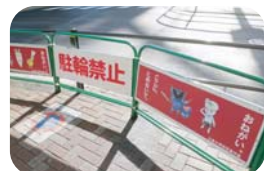
懇談会では、「安全で安心なまちづくり」「アニメをテーマにしたまちづくり」「大泉学園駅北口地区の地区計画の作成」「再開発エリア（北口商業ゾーン）の整備」の4つの課題に取り組まれています。

●懇談会の活動紹介（一部抜粋）『路上駐輪対策』

懇談会が最初に取り組んだのが路上駐輪の対策です。取り締まりを強化してもらったほか、放置自転車の実態調査をしたり、地区計画で道路からセットバックし、スペースが空いた箇所の所有者に自転車の駐輪ラックの設置をお願いしたりしました。また、小学生たちが描いたイラストを使ったデザインの駐輪禁止のバリケードを付けたのは、非常に効果がありました。

●地域の方々の取組みによって改善されたこと

路上駐輪対策は大変ですが、根気強くやっていると少しずつ改善されてきました。そうするとポイ捨てや街のゴミが減ってきます。最近ではボランティアや町会・商店会の方々が掃除をし、街をきれいにしていくという意欲が高まってきているので、街中がすごく綺麗になりました。

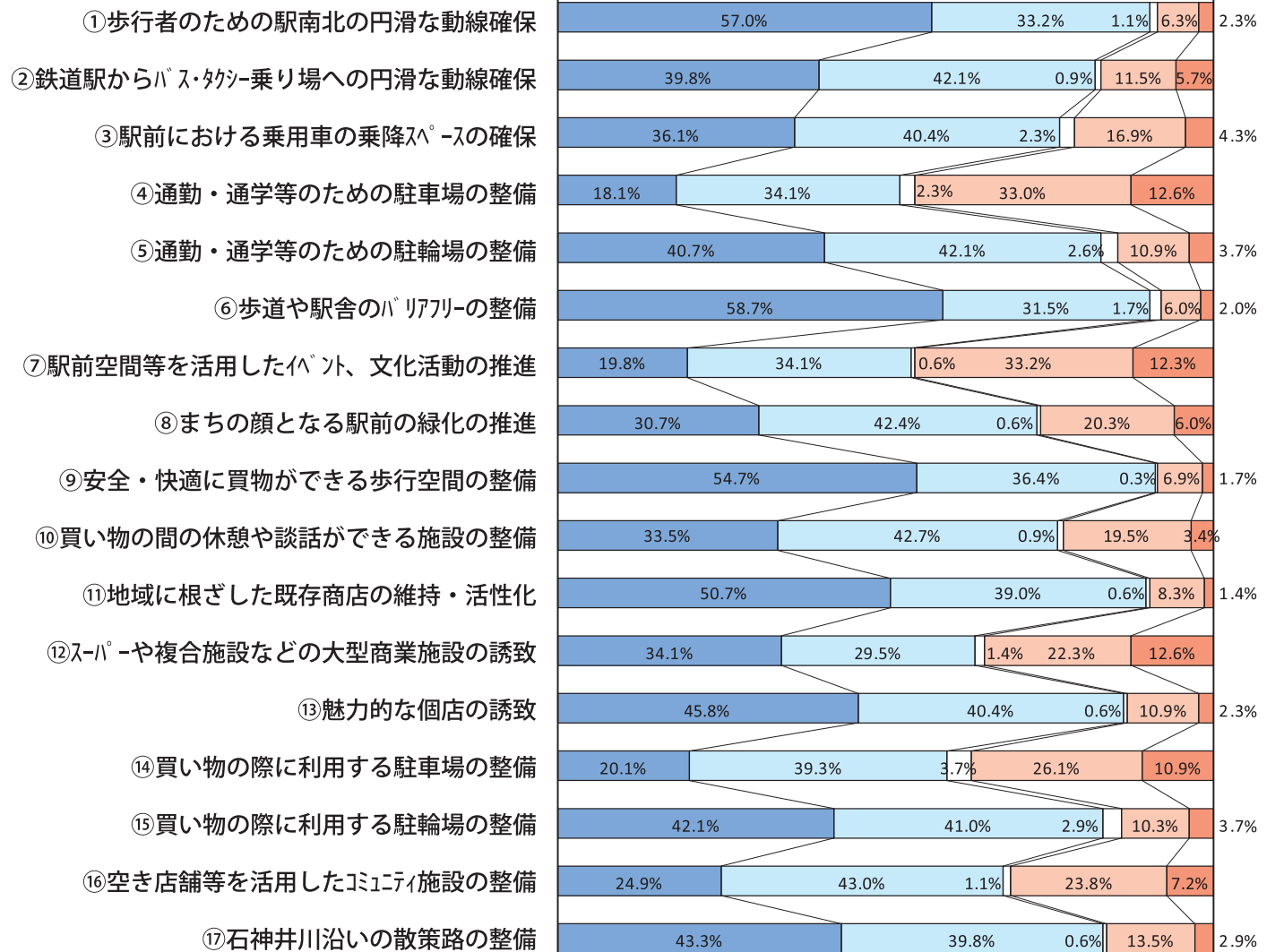


武蔵関駅前のまちづくりに関するアンケート調査を実施

日 時：平成27年8月26日～9月10日
 調査対象：武蔵関駅前まちづくり推進会の活動対象範囲（1ページの地図参照）に居住する方、土地・建物を所有する方、営業されている方
 調査方法：各戸投函（地区外権利者へは郵送配布）、郵送回収
 回収結果：回収率10.3%（配布3,383件、回収349件）

アンケート結果の一部をご紹介します

質問. 鉄道の立体化を見据えた武蔵関駅前のまちづくりで検討すべき内容について



駅前空間および商店街での安全・快適な歩行空間の整備や、既存商店の維持・活性化が必要と感じている人が多いことがわかります。

アンケートにご協力いただいたみなさま、ありがとうございました!

アンケート調査の結果の概要は、練馬区ホームページで公開しています。

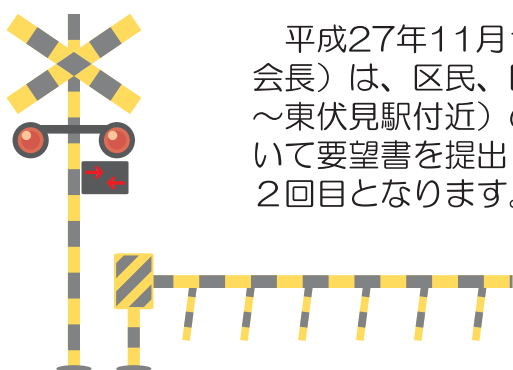


武蔵関駅周辺地区のまちづくり で 検索

西武新宿線立体化の早期実現に向けて

東京都へ要望書を提出しました

安藤副知事へ要望書を手渡す前川区長 ▶



平成27年11月11日、前川耀男区長（西武新宿線立体化促進協議会会長）は、区民、区議会議員とともに都庁を訪問し、西武新宿線（井荻～東伏見駅付近）の連続立体交差化の早期事業化に向けた取組などについて要望書を提出しました。同年1月に初めて要請活動を行い、今回は2回目となります。

対応した安藤副知事からは、「地元の皆様の思いを感じている。鉄道立体化に向けた検討を更に進めていく。まちづくりをより一層進めていただきたい。」といった内容の挨拶をいただきました。



西武新宿線立体化促進協議会とは？

「西武新宿線立体化促進協議会」は、西武新宿線の区内全区間を含む井荻から東伏見駅付近の鉄道立体化の早期実現などを図ることを目的として、平成27年1月25日に区民、区議会、区が一体となり結成された組織です。

西武新宿線の立体化について

練馬区内全区間を含む井荻から東伏見駅付近について、東京都は、平成16年に「鉄道立体化の検討対象区間」として抽出し、平成20年に同区間を連続立体交差事業の事業化の可能性について検討を進める「事業候補区間」として位置付けています。

練馬区では、上井草駅、上石神井駅、武蔵関駅の沿線3駅周辺地区について、鉄道立体化を見据え、まちづくりの方向性を示した「まちづくり構想」をそれぞれ策定し、まちづくりの検討に取り組んでいます。



お問い合わせ先

練馬区 都市整備部 西部地域まちづくり課

電話：5984-1278（直通）

担当：甲斐・山口・橋本